

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

11月の活動予定

11月6日(火) 第一例会

11月20日(火) 第二例会

11月3日(土) 燕岳

CL…

11月11日(日) 国師が岳・北奥千丈岳

CL…

11月17～18日(土・日) ザイル祭り

11月18日 冬山安全祈願&物見初アイゼン

12月の活動予定

12月4日(火) 第一例会

12月18日(火) 第二例会

12月8日(土)or9日(日) 鍬ノ峰

CL…

12月29日(土) 黒姫山

10月の活動報告

10月8日(月) 鳥甲山

参加者:

天気:曇り

小布施ハイウェイオアシス 4:30 集合。栄村秋山郷の切明温泉近くのムジナ平登山口から屋敷登山口までの周回コースです。登山口に入ると、けもの臭いが漂っている。登山でこの臭いはあまりない。すぐに急登。落葉と、このところの雨で足元は滑る。また、木の根で滑らないように慎重に足を置く。急登は続くが、山は既に秋色。登山道の周りの紅葉は真っ盛り。雲がかかり山頂までは望めない。向かいに見えるであろう苗場山の山頂あたりも雲の中。尾根まで登ると40mの岩にクサリとハシゴ。ハシゴの元も固定されてなく不安。尾根は細く両手を広げた幅もないくらいだ。特に東側(中津川に面している側)はスッパリ切れ落ちている。コース難所のカミソリの刃(幅数十cm)を慎重に通過。赤岩の絶壁の下を40mトラバース。ガスも上がりやっと山頂らしき峰も見えてきた。奥志賀高原のスキー場がみえるが、2000m超の峰は相変わらず雲の中。屋敷コースとの分岐をすぎ山頂へ。笹林のなかに穏やかな山頂。ハードなコースとのギャップになんだか拍子抜け。下りをなめていたわけではないが、下りも細尾根の急斜面でムジナ口からの登山道より利

用が少ないのか登山道は荒れている感じでよく滑る。慎重に下るが、脚にきているせいとかにかくよく滑る。枝につかまりながらやっと下山。屋敷口に無事下山。車2台で来ていた



ので6kmの林道をムジナ口へ戻る。ケガもなく良かった。途中で登山標識がなく、どこを歩いているかわからなかったのので、記録もおおまかです。

ムジナ平登山口 7:00 白嵐の頭 9:55 分岐 11:20
山頂 11:25/12:00 屋敷登山口 15:20

10月15日(月) 御神楽岳

参加者:

天候:晴

目まぐるしく変わる空のご機嫌に、二転三転と山行日も変わり10月15日(月)挑戦(?)となった。夜も明けない3時45分長野を出発、順調に林道終点登山口に到着。他に車は無くポストを見ても登る人は少ない山のように思われる。



【湯沢の出合】

湯沢の出合までは水音を聞きながら平坦

な沢筋を歩いたが、斜面での足場は非常に悪く気が抜けない。ヌルヌルとした危険な沢を何度か徒渉した。湯沢出合

から登り本番となり、見上げると大きな屏風のような岩稜が目飛び込んで来た。ダイナミックな景観に見とれてしまう。ヘルメットを装着しストックをしまい急登を登る。なかなか厳しい！馬の背の通過は心配した程



【岩稜帯】

ではなかった。稜線に出ても山頂は見えないが、湯沢出合で見上げた岩稜が間近に見え、その大きさに感嘆するばかり。高頭から湯沢の頭、雨乞峰まで、やせ尾根のアップダウンの繰り返しが続き少しも気が抜けない。崩落箇所あり藪ありの危険な急登の連続に雨乞峰に着いた時は心底ホッとした。15分程で御神楽岳に到着。3人だけの静かな山頂。飯豊連峰、粟ヶ岳、守門岳等々が望め、どちらを見ても山、山、山・・・。

雨乞峰まで戻り室谷登山口をみざして下山開始。危険ではないものの、刈り払いの枝やらぬかるみの多い、なかなかの悪路。下降する程に美しいブナの樹林となる。無事下山し、タクシーの待ち合わせ場所まで歩き始めて間もなく、「疲れているだろうから」と、普段は車を入れていない林道へ迎えに来て下さったタクシーの運転手さん。優しさが身にしみました。

林道終点まで戻り、一路長野へ。長距離を運転して頂いた横澤さんに感謝です。手足を使いスリル満点、たっぷりと歩き満足の山旅でした。



馬の背



室谷への下山道からの山頂

長野(ルーフ橋) 3:45 — 上越 JCT — 新潟中央 JCT — 津川 IC 6:25 — あすなろ森林公園 6:55 — 林道終点 7:05/7:20 — 湯沢出合 8:36 — 高頭 10:44 — 湯沢の頭 11:35 — 雨乞峰 12:43 — 山頂 12:58/13:30 — 雨乞峰 13:40 — 大森 — 徒渉点 15:44 — 室谷登山口 15:52 — 徒歩・タクシー — 林道終点 16:50/17:05 — 長野 20:50

10月21日(日) 兜岩山、行人岩

参加者:
天気:晴れ

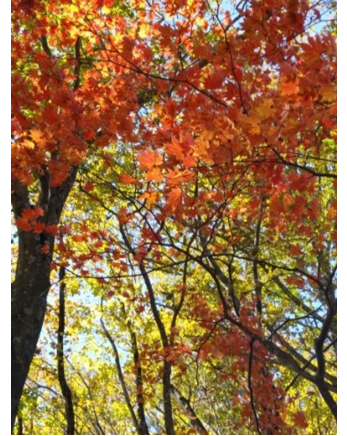
「兜岩山? たいしたことないよ」その言葉を信じ「やさしい里山」のつもりで行ったのですが、行人岩を含めなかなかスリリングな所もあり楽しめました。

長野を6時に出発。内山大橋の手前を右に2kmほど入り荒

船不動尊を目指しますが、林道は狭く車の底を擦らないよう進みます。駐車場に県外ナンバーの車が2台。荒船不動尊から荒船山への分岐となる星尾峠へ。峠からはアップダウンのある気持ちの良い県境尾根が続きます。紅葉も始まり青空に黄葉が輝いてきれい!

御岳山の手前は滑りやすい急登で、ちょっとした岩場もあり、乾いていればどうということもないのに気をを使う。御岳山には神官像が建ち、その手前を入った所には2体の石像があるのですが、道標が朽ちていてどっちの方へ行けば良いのかわかりづらい。

その先のローソク岩では、P1の岩に突き当たると右側に巻きながら進み、ちょっと登るとP1の頂上。狭いので交代で眺めを楽しみます。P2、P3も巻きながら稜線に出て、左に行けばP3の基部。帰りにはハーネスをつけた人がP3に向かっていました。登れるんだ! 私たちは右に進み兜岩山へ。山頂は木に囲まれ展望はありませんが、その先に開けた展望の良いところがあって、八ヶ岳・北アルプスを眺めながらお昼にしました。



帰りは荒船不動尊への近道を通り下山。カラマツの多い明るくて気持ちの良い道でした。

車で中村公園の行人岩へ移動。「この先の岩登りは危険がともないます。登る方は自己の責任でお願いします」の看板を過ぎて登り始める。狭い石門をくぐり抜けたり、ステップの切られた垂直な岩をちょっと登ったり、最後に右の岩から左の岩に移ると行人岩のピーク。あっけなく着いてしまった。さっき登った兜岩山、三角錐の形の良い御岳山、荒船山がよく見える。皆さんは余裕で展望を楽しんでいるが、私は早く下りたくてしょうがない。

慎重に下る。

この日浅間山は初冠雪。きれいだった。

長野 6:00 — 荒船不動尊 P 7:30 — 星尾峠 8:30 — 御岳山 9:13 — 兜岩山 10:33/11:15 — 荒船不動近道入り口 12:15 — 荒船不動尊 P 12:45 中村公園 13:20 — 行人岩 13:40/14:00 — 中村公園 P — 長野 16:00

10月6日(土) 霧ヶ峰 車山 (百名山 百座目)

百名山、ようやく達成出来ました。
ホワイトバーチの皆様のお蔭でここまで来ることが出来まして、感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。

百座目は孫と登りたいと夢見ていました。百座目を車山と決めて、孫に話したのが3年前。孫は小学5年生でした。その頃学校で家族の事を紹介するようで、孫は私の事に決めたそうで、質問がメールで送られて来ました。

- ①なんで100名山を登ろうと思ったんですか？
- ②今何個登ったんですか？
- ③僕と登ろうとしてる100個目はなんという山ですか？
- ④今まで登った100名山の中で1番大変だったのはどの山ですか？その理由はなんですか？
- ⑤なんで山登りをするんですか？

私はとても光栄に思い、丁寧に答えました。そして、孫との約束は必ず実現させたいと思うようになりました。すぐに実現すると思っていた百名山でしたが、残っていた九州の4座が、洪水や噴火と災害に襲われ、なかなか登る事が出来ず、ようやく今年夏に登る事が出来ました。

そして今日、百座目。中学2年になった孫と息子夫婦、鎌倉の小学2年の孫も行かれることになり、夫と6人での山行となりました。

白樺湖辺りまでは快晴だったのに、霧が出てきて車山肩の駐車場は霧の中です。ここから山頂まで1時間。小2の孫は初めての登山に緊張してか、車中、2度も吐き、隣に座った中2の孫に面倒を見てもらいどうなるかと心配しましたが、歩き始めると元気で、石ころだらけの登山道で少し大きな石があると上にピョンと乗ったり、大きな石を持ち上げたりするので、しっかり手をつないで歩きました。

遠くの景色は見え、登山道の脇の紅葉した葉や枯れた花に秋を感じます。山頂近くなると風が強くなり、中2の孫はメガネが曇ってよく見えないとレンズを拭きつつ、小2の孫は風で飛ばされたら大変と、テープで確保して万が一に備えて進みました。息子は、霧ヶ峰の霧の中を歩くのも良い経験だよ。と言ってくれました。最近山を始めたそうで、山の道具も買いそろえ、携帯にヤママップのアプリを入れて現在地を確認しています。霧で見えなかった山頂の案内板が突然目の前に現れ、皆でびっくりし、息子も携帯を見たら、ホント着いている！と笑い合いました。慌てて百名山達成と書いた紙を広げて皆で記念写真。嬉しくて、気持ちがフワフワしていました。



山頂の球形のレーダードームがちょうど風よけになってくれて、風の当たらない所で、お湯を沸かしてラーメンやコーヒーを作って休憩。

下りは車山乗越へ。段差の大きい階段は濡れて滑り、一步一步慎重に降りました。木道になると、もう危なくないので、小2の孫は私から離れて、皆と笑い声を弾ませながら楽しそうに歩いています。レンゲツツジが群生していて、花の咲く季節はきれいだろうと思いました。

車山肩にあるコロボックルヒュッテのボルシチがお勧めだそうで、昼食タイム。真冬のような寒さに体が冷えていたので、ことさら美味しく感じました。ゆっくりくつろぎ、外に出ると一瞬晴れ間が現れ、目の前に草原の景色が広がりました。この辺りはニコウキスゲがきれいなところ。今は草紅葉がきれいです。

帰り道、白樺湖でボートに乗って遊び、長野の自宅に着くと、娘がお祝いの準備をして待っていてくれました。3歳の孫と、善光寺に今日の登山が無事でありますようにとお参りして来たそうで、長野は夏のように暑くて大変だったそうです。台風通過の異常気象の1日でした。

翌日、夫は息子が山を始めたのが1番嬉しかったそうで、子供の頃穂高や白馬、立山に連れて行ったのが良かったのかなと話していると、娘は、山岳部に入ったのも、自信があったからだから、お父さんのお蔭だと言います。そして、20年、30年後に、自分の小2の息子が、中2の孫と2人で山に登っていたら良いなと、今回思ったのだそうです。その為に少しずつ、今から山に連れて行こうかなと話しています。

私の百名山は、子供や孫に少しは山の楽しさを伝えられたのかな？20年、30年後に孫2人がどこかの山を歩きながら、車山、霧の中登ったよなと思い出してくれるのかも知れないと、想像するだけで楽しい百名山百座目となりました。

10/6 (土) 長野自宅 7:20=須坂 8:00=須坂長野東 IC=東部湯の丸 IC=ビーナスライン=車山肩 P10:00-車山山頂 11:00/11:40-車山乗越 12:17-車山肩コロボックルヒュッテ 12:40/13:40-車山肩 P13:45=白樺湖 14:15=長野自宅 17:30

